

## コミュニティ協議会で アダプテッドスポーツ体験!

8月21日に熊谷市・深谷市・寄居町コミュニティ協議会合同研修会が開催されました。この研修会は、子どもたちの健やかな育ちを地域コミュニティ全体で考える契機とするため、コミュニティ協議会が「つなぎ役」となり、立正大学やNPO法人の協力のもと、アダプテッドスポーツを体験するというものです。

アダプテッドスポーツとは、子どもやお年寄り、障害者等誰もが参加できるスポーツで、当日は四面卓球バレーやフロアカーリング、フライングディスク、車いすバスケットボールなどを体験しました。



## 開催されました! イングリッシュ・サマーキャンプ



7月26日と27日に、小川げんきプラザで町主催のイングリッシュ・サマーキャンプが開催され、町内の小学5・6年生20人が参加しました。キャンプでは、児童たちが外国人の英語指導助手(AET)と一緒に過ごし、本場の英語を体験しながら外国の文化に触れました。

参加した児童からは「ドリームキャッチャー作りが楽しかったです」、「参加前よりも英語ができるようになりました」、「新しい友達がたくさんできて良かったです」などの喜びの声が聞こえました。

## 鉢形城歴史館開館10周年記念 歴史講演会開催!



鉢形城と縁のある戦国武将にスポットを当て、駿河台大学の黒田基樹教授を講師に招き全3回にわたり開催された「鉢形城歴史館開館10周年記念歴史講演会」。最後を飾る第3回目の講演会が8月16日に開催され、北条氏邦にまつわる講演に大勢の参加者が聞き入りました。

参加者からは「“人物”でなく“城を支配した人物”を時間の流れで追うという興味深いテーマでした」、「知らなかったことが多くて勉強になりました」、「住民の生活状況や具体的な攻防戦の陣形も知りたいと思った」などの声が寄せられました。

## 寄居運動公園 テニスコートの整備完了!

平成23年度から整備してきた寄居運動公園のテニスコートが4面すべて完了し、砂入り人工芝のオムニコートとなりました。オムニコートは水はけが良く国内で広く普及しており、多くのスポーツ施設で採用されています。

8月から利用可能となっていますので、ぜひご利用ください。新しくなったテニスコートで、皆さんもさわやかな汗を流してみませんか。



## 個性あふれる作品ができました! 「石に絵をかいてみよう」



8月17日に、図書館で大人気の「石に絵をかいてみよう」が開催されました。自然のままの小石の形を上手に利用して、アクリル絵の具で好きな絵を石に描く教室です。皆さん熱心に取り組まれ、個性豊かな素晴らしい作品が出来上がりました。

親子で参加された方は「子ども自身で好きな形の石を選んで描いたので、発想が広がったようです。色塗りは苦戦しましたが、出来上がりに満足で親子で楽しめました」と話してくれました。



## 図書館で大活躍 私たち、こども司書です!

図書館では、夏休み期間中の8月9日、12日、19日の3日間、町内の小学5・6年生9人に「一日こども司書」を体験していただきました。

カウンター業務や本の選定、装備、調べ物などを体験した児童は「本を読むのが大好きなので、司書の仕事が体験できて良かったです。次に図書館に来たときは、教えてもらったことを生かして本を探したいです。カウンターでたくさんの人に声をかけてもらって楽しくできました」と話してくれました。



## 鉢形城歴史館体験教室 「土器づくり」と「勾玉づくり」



7月26日に、鉢形城歴史館体験教室の「土器づくり」が開催されました。実物の縄文土器を見ながら粘土で形を作り、縄ひもや竹の棒で模様を付け、思い思いの作品が出来上がりました。その後、1か月間乾燥させ、薪で粘土を焼き上げました。

また、8月6日には「勾玉づくり」が開催されました。勾玉は、古くは縄文時代から首飾りなどにされ身に付けられていたものです。四角い石を削り、表面がツルツルになるまで磨いてペンダントを作りました。形を作り出す作業に苦勞する様子も見受けられましたが、最終的には参加者全員見事な勾玉を完成させました。参加者からは「石をのこぎりで切ることがとても難しかったけれど、とても楽しかった。また作りたい!」との声が寄せられました。